

1 はじめに ～『災害に強いまちづくり』～

近年、東日本大震災や台風、局地的大雨による洪水被害など、日本各地で自然災害が多く発生しており、日頃から災害に対する備えを進めておく必要があります。

泉大津市では、『災害に強い安全なまち』を目指して、これまで地震(震度、揺れやすさ)や洪水、津波のハザードマップを作成し、災害の危険性や防災情報を周知してきましたが、このたび、それら災害情報や防災情報を改訂し、総合防災マップを作成しました。

防災・減災の基本は、行政が取り組む『公助』とともに、一人一人が自ら取り組む『自助』、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む『共助』を高めることとされています。このマップを活用し、いざというときにあわてず行動できるように、家族や地域で災害に対する備えを行いましょう。

自助



- 家の中の安全対策 (家具の転倒防止や自宅の耐震性の確認)
- 非常持ち出し品の常備
- 災害発生直後の避難行動の検討
- 災害情報の収集
- 家族の安否確認と共有 など

災害に強いまちづくり

共助



- 自主防災組織への参加
- 自主防災訓練の実施 (地域での消火、救出活動)
- 講習会や勉強会の開催
- お年寄りやお体の不自由な人への助け合い
- 地域内での情報共有や安否確認 など

公助



- 総合防災訓練、避難訓練の実施
- 海拔表示シートの設置
- 津波避難ビルの指定
- ハザードマップの作成
- 情報伝達手段の拡充 (同報系防災行政無線の設置、緊急速報メール)
- 防災教育の推進
- 他の自治体との連携・協定の締結 など

目次

はじめに

1	はじめに～『災害に強いまちづくり』～	1
---	--------------------	---

地震編

2-1	地震の震度はどうなる?	2
2-2	地震の倒壊危険度はどうなる?	3
2-3	液状化発生の可能性はどうなる?	4
2-4	地震発生そのとき、こうする!	5
2-5	津波から身を守るために	6
2-6	津波ハザードマップ(市全域)	7
2-7	津波ハザードマップ(市街地拡大)	9
2-8	津波避難の基本方針	11

水害編

3-1	内水はん濫シミュレーションマップ	12
3-2	洪水ハザードマップ	13
3-3	大雨時は防災情報を確認しましょう	15

共通編

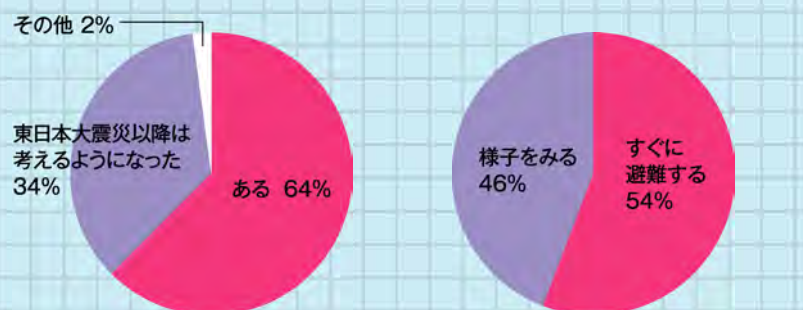
4-1	みんなで防災について考えましょう	16
4-2	あなたが作る防災マップ	17

泉大津市民の防災意識は?



Q) 泉大津市に津波が来ると考えたことはありますか?

Q) 大きな揺れに襲われたら、避難しようと思いますか?



(平成25年度の津波避難に関する住民ワークショップで実施したアンケート調査結果より)

携帯電話で入手できる防災情報

- おおさか防災ネットのメール配信(事前登録が必要)

touroku@osaka-bousai.net へ空メールを送り登録

右記のQRコードを読み取り、空メールを送信して手続きを行うことができます。

- 緊急速報メール(事前登録なし)

避難勧告や津波警報など緊急かつ重要な情報を携帯電話等に配信します。

